1101875HB0101

MITSUBISHI

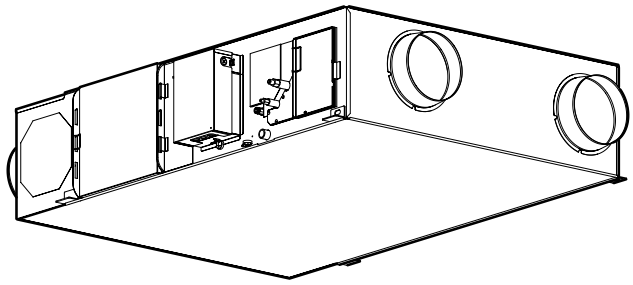
三菱業務用ロスナイ
外気処理ユニット（天井埋込形加熱加湿付直膨タイプ）

形　名

R410A対応

LGH-50RDF$_6$
LGH-80RDF$_6$-50,-60
LGH-100RDF$_6$-50,-60

取扱説明書　お客さま用



もくじ

ページ

安全のために必ず守ること ……2～4
特　長……4
各部のなまえとはたらき ……5
使いかた ……6～17
お手入れ ……18～20
保守点検 ……21～23
「故障かな？」と思ったら ……24～25
アフターサービス ……26
移設・工事・点検について ……27
仕　様 ……28

このたびは三菱業務用ロスナイをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
★ ご使用の前に「安全のために必ず守ること」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
★ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口のご案内（冷熱品）」とともに大切に保管してください。
★ お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」をお渡しください。
★ お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません）

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠ 注意	誤った取扱いをしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■“図記号”の意味は次のとおりです。

禁止	ぬれ手禁止
分解禁止	指示に従い必ず行う
水ぬれ禁止	アース工事

●ご使用時

⚠ 警告

長時間直接お肌に風をあてない
健康を損なう原因になります。
禁止

お客さま自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない
不備があると、火災・感電・ユニット落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買い上げの販売店にご相談ください。
分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない
特にお子さまにご注意を！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。
禁止

清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る
ファンおよびファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。
電源を切る

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る
異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因となります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。
電源を切る

万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う
冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。
換気

パネルやガードを取りはずさない
機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
点検時以外は絶対にはずさないでください。
分解禁止

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない
法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。
封入冷媒の種類は、機器付属の説明書あるいは銘板に記載されています。それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。
禁止

外気処理ユニットおよびリモコンを水洗いしない
ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。
水ぬれ禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない
感電の原因になります。
ぬれ手禁止

定格電圧、制御容量範囲で使用する
間違った電圧で使用すると火災や感電の原因になります
制御容量

凍結のおそれのある地域では、給水配管に必ず凍結防止工事を行う
電磁弁・配管などが破損し、水漏れの原因になります
凍結防止

⚠ 注意

外気処理ユニットの下に濡れて困るものを置かない
冷房時、多湿（湿度80%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。
設置禁止

冬期、室内を暖房しているとき、「普通換気」で運転しない
本体から結露水が天井面に滴下して、天井面を汚すおそれがあります。
使用禁止

直接風のあたる場所に燃焼機器を置かない
不完全燃焼の原因になります。外気処理ユニットが燃焼器具の熱で変形することがあります。
設置禁止

特殊用途に使用しない
精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。
使用禁止

室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない
落下・転倒によるケガの原因になります。
禁止

⚠ 注意

直接風のあたる場所に動植物を置かない
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない
火災・変形の原因になります。

お手入れの際は洗浄剤等を絶対に使用しない
変形、割れ等の原因になります。

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない
落下・転倒によるケガの原因になります。

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品および薬品から発生したガスを十分排気してから、外気処理ユニットを運転する
薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸込んだりすると外気処理ユニットの腐食、変形の原因になります。

室内を薬品消毒するときは外気処理ユニットに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、外気処理ユニットを停止する
薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る
運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

据付台などがいたんだ状態で放置しない
ユニットが落下・転倒し、ケガなどの原因になります。

運転中に冷媒配管に触れない
素手で触ると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

外気処理ユニットの下方に食品や食器を置かない
ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。

リモコンを先がとがった物で押さない
故障の原因になります。

燃焼機器と一緒に使うときは、こまめに換気する
酸素不足の原因になります。

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する
目にゴミ・ホコリが入ることがあります。

お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
落下によりケガをすることがあります。

お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとケガの原因になります。

●据付け時

⚠ 警告

元電源の取付位置を確認する

据付けは、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください

漏電遮断器を取付ける
取付けていないと、感電・火災の原因になります。

リモコン付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散しリモコンにかかる所には取付けない

室内・室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること
ユニットの落下・転倒なとによりケガの原因になります。

使用される別売部品は当社指定品であること
別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電・火災・水漏れなどの原因になります。お買い上げの販売店にご依頼ください。

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する
異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災・故障の原因になります。

安全のために必ず守ること　つづき

●据付け時

⚠ 注意

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのある場所へは据付けない
ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火・爆発の原因になります。

据付禁止

ドレン配管は確実に行う
配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

排水

アース工事（D種接地工事）を行う
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完な場合は、感電の原因になります。

アース工事

（据付け時の警告、注意については、外気処理ユニットの据付工事説明書をご覧ください）

●冷媒（フロンガス）についてのご注意
この外気処理ユニットには、不燃性・非毒性・無臭の冷媒を使用していますが、これが漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜りやすく酸欠事故の原因になります。
（冷媒が漏れたときの処置）
万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分換気を行ってください。その後、お買い上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください
本体が腐食しガス漏れしたり、性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。
- ●可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- ●硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- ●車輌・船舶など移動するものへの設置
- ●高周波を発生する機械を使用するところ
- ●化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- ●粉や蒸気が多量に発生するところ
- ●油煙がたちこめるところ
- ●海浜地区など塩分の多いところ
- ●積雪により室外ユニットが塞がれるところ
- ●炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ

特　長

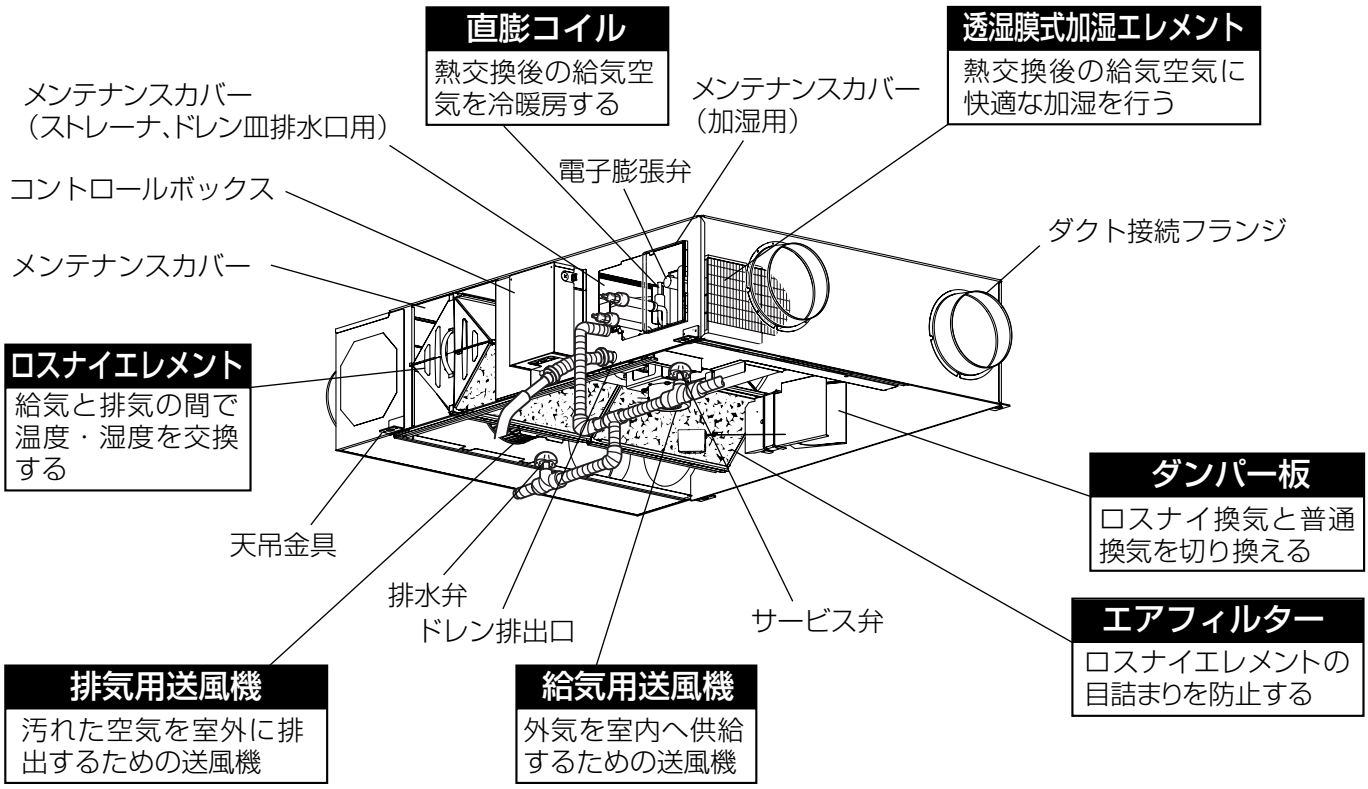
最近のオフィス等は気密性が良く、冷暖房効果・しゃ音効果が高いという特長があります。
その反面、換気不足による室内空気の汚染・結露の発生など健康を害したり、壁・天井の汚れのもとになるカビ・ダニの発生につながります。

そこで外気処理ユニットによる換気が必要になります。
外気処理ユニットは……
室外の空気を室内の温・湿度に近づけながら室内に給気するとともに、汚れた空気を室外に排気します。

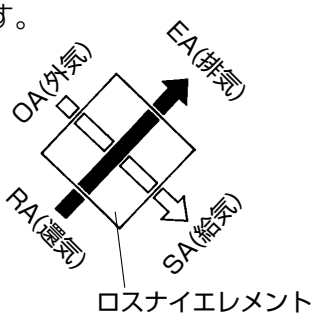
主な特長

1	強制同時給排なので 新鮮空気	強制同時給排機能によってきれいな外気を取り入れながら汚れた空気を排気します。だから室内の空気は新鮮です。
2	ロスナイエレメントの働きで 快適温度	ロスナイエレメントの働きにより外気を室温に近づけて給気しますので、暖かさ・涼しさを保ちながら換気します。
3	熱ロスが少ないから 省エネ	室内の暖かさ・涼しさを保ちながら換気ができるので、冷暖房時の熱ロスが少なく冷暖房費も節約できます。
4	特殊構造により 防音効果	室外騒音の侵入を防ぎ、室内音の音もれを抑えます。
5	透湿膜式加湿エレメントによる 快適な加湿	透湿膜式加湿エレメントを採用。 水と空気が触れないため、快適な加湿空気として室内に供給されます。
6	制御モード選択可能による 快適性向上	しっかり加湿：加湿を優先して直膨コイルの温調制御を行います。 マイルド加湿：吹出温度を抑えながら加湿を行います。

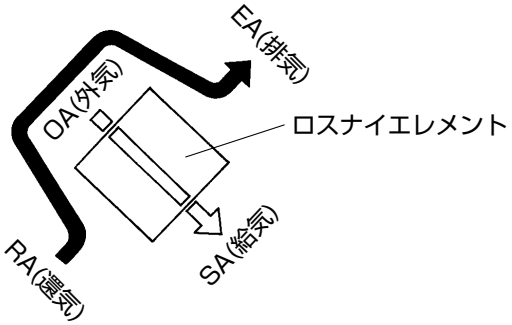
各部のなまえとはたらき



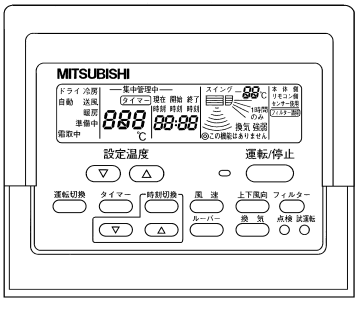
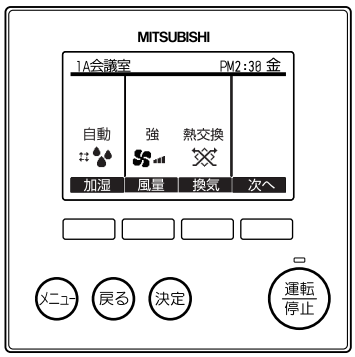
● **「ロスナイ換気」とは……**
室内空気をロスナイエレメントを通して室外に排気します。熱交換された外気が室内に供給されます。冷暖房をしている夏· 冬には「ロスナイ換気」で運転します。



● **「普通換気」とは……**
室内の汚れた空気をロスナイエレメントを通さずそのまま排気します。熱交換を必要としない春·秋には「普通換気」で運転します。



使用するリモコンスイッチ

MEリモコン：PAR-F28ME	MAスマートリモコン：PAR-32MA
	

使いかた

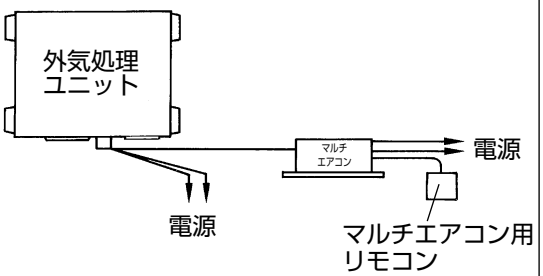
この製品は三菱電機マルチエアコンシステムに組込まれて使用するものです。
運転については、マルチエアコンに連動してマルチエアコンの操作により行います。

マルチエアコンと連動運転をする場合と連動しない場合で使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。

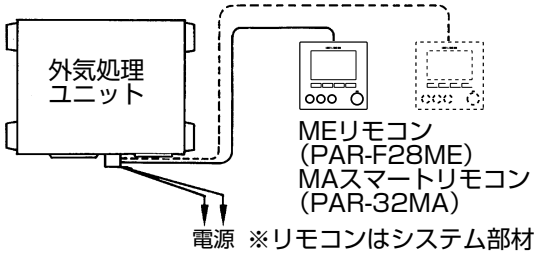
メ モ

- MEリモコン(PAR-F28ME)、MAスマートリモコン(PAR-32MA)をご使用の場合は、リモコンの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 加湿運転中に製品運転停止または加湿のみ停止した場合、加湿エレメント内の水がドレン排出口より排水されます。
- 暖房モード時または加湿モード時、製品本体の結露防止のため「ロスナイ換気」で運転してください。なお、外気が8℃以下で自動的に「ロスナイ換気」となります。

〈マルチエアコンと連動する場合〉

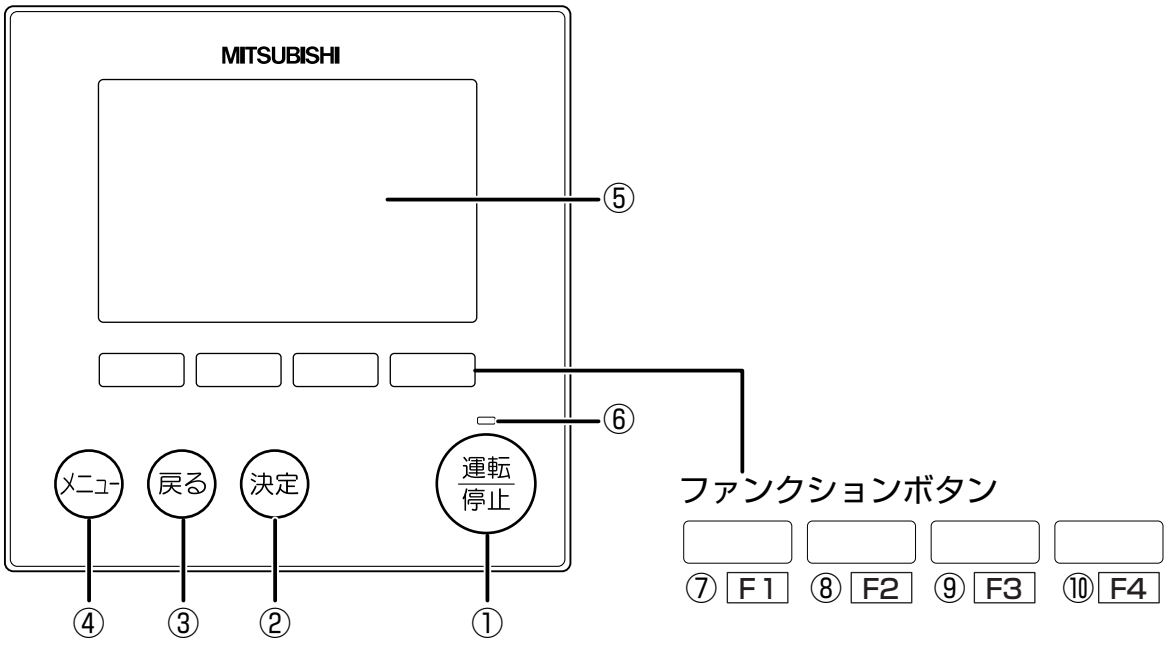
システム例	操 作	機能説明
	マルチエアコン用リモコンで「運転」または「停止」すると自動的に外気処理ユニットも「運転」または「停止」します	●マルチエアコン用リモコンで外気処理ユニット単独の運転／停止、風量の強／弱切り換えができます。(MAスマートリモコン・MEリモコン使用時) ●換気モードは「自動切換」になります。 ●加湿運転はマルチエアコン暖房運転時に行います。 ●外気処理ユニットの運転モードは運転しているマルチエアコンと同じモード（暖房、冷房、送風）で運転します。また連動しているマルチエアコンが複数で、それぞれ運転モードが違う場合は、暖房＞冷房＞送風の優先度で運転モードが決まります。

〈単独運転の場合〉

	リモコンで運転する	●リモコンが2台ある場合は後押優先となります。 ※MAスマートリモコンとMEリモコンの併用接続はできません。

═MAスマートリモコン（PAR-32MA）使用の場合═

操作部



① 運転 / 停止 ボタン

1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。
24時間換気設定されている場合は「運転」「24時間換気」を切り換える。

② 決定 ボタン

設定の決定をします。

③ 戻る ボタン

前の画面に戻ります。

④ メニュー ボタン

メインメニューを表示します。

⑤液晶表示部（バックライト付）

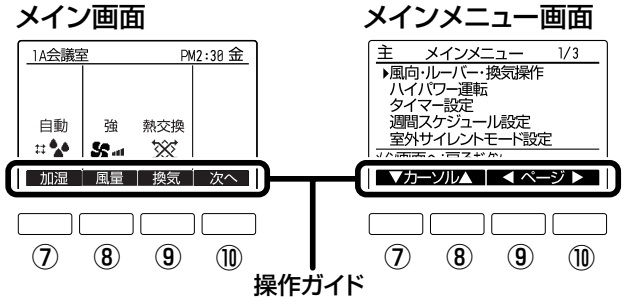
運転内容を表示します。
バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。
バックライトのみ点灯します。
（運転/停止 ボタンは除く）

⑥運転ランプ

運転中、緑色に点灯します。
立上げ時・異常時は点滅します。

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。
液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。



⑦ファンクションボタン F1

メイン画面：加湿モードまたは運転モードを切り換えます。
メインメニュー画面：カーソルが下に移動します。

⑧ファンクションボタン F2

メイン画面：風量の切換えまたは設定温度を下げます。
メインメニュー画面：カーソルが上に移動します。

⑨ファンクションボタン F3

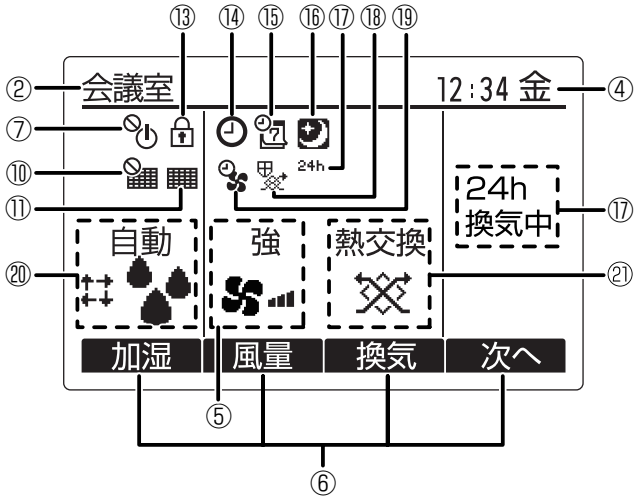
メイン画面：換気モードの切り換えまたは設定温度を上げます。
メインメニュー画面：前のページを表示します。

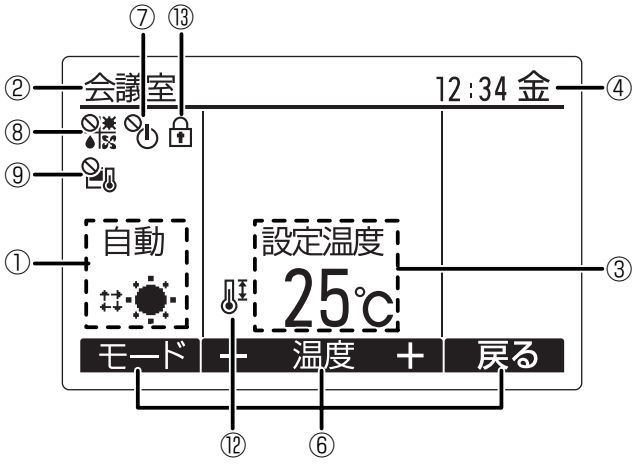
⑩ファンクションボタン F4

メイン画面：メイン画面表示を切り換えます。
メインメニュー画面：次のページを表示します。

使いかた　つづき

表示部





①運転モード表示　11 ページ

運転中の状態を表示します。

②リモコン名表示（リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照）

リモコンの名前を表示します。
（異常猶予中は 4 桁のコードを表示します）

③設定温度表示　11 ページ

設定温度を表示します。

④時刻曜日表示（リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照）

現在の時刻曜日を表示します。

⑤風量表示　10 ページ

風量の状態を表示します。

⑥操作ガイド

ファンクションボタンの機能名を表示します。

⑦ 表示

発停操作が集中管理中のときに表示します。

⑧ 表示

運転モード操作が集中管理中のときに表示します。

⑨ 表示

設定温度操作が集中管理中のときに表示します。

⑩ 表示

フィルターリセット操作が集中管理中のときに表示します。

⑪ 表示　14 ページ

エアフィルター、ロスナイエレメント、加湿エレメントのメンテナンス時期になると表示します。

⑫ 表示

設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。

⑬ 表示

操作ロック設定が有効のときに表示します。

⑭ 表示

オン / オフタイマー設定が有効のときまたは消忘れ防止設定が有効のときに表示します。

⑮ 表示　12 ページ

週間スケジュールタイマー設定が有効のときに表示します。

⑯ 表示（外気処理ユニットの据付工事説明書を参照）

ナイトパージ設定が有効またはナイトパージ運転中に表示します。

⑰ 24h 表示、 24h 表示

24時間換気設定が有効のときは 24h を表示します。
また、24時間換気運転中のときは 24h および「24h換気中」を表示します。

⑱ 表示

機器を保護する運転中に表示します。

⑲ 表示

パワー給排気運転または遅延運転中に表示します。

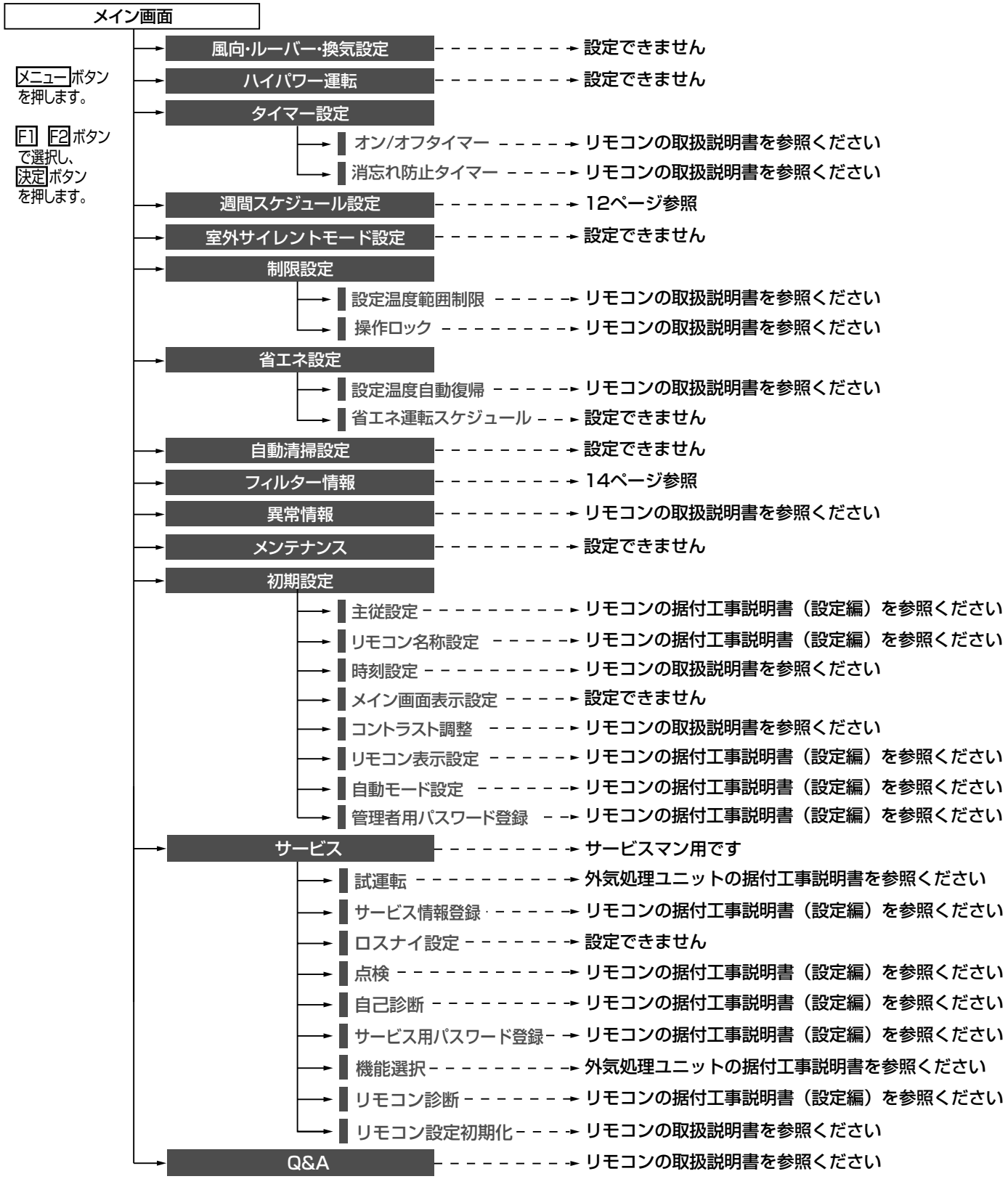
⑳加湿モード表示　10 ページ

加湿モード状態を表示します。

㉑換気モード表示　10 ページ

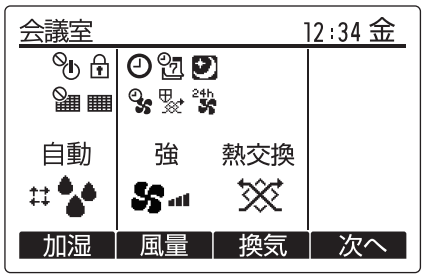
換気モードの状態を表示します。

画面の流れ

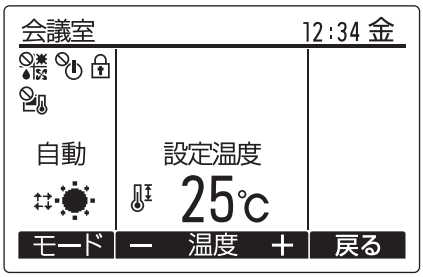

メイン画面
メニューボタンを押します。
F1 F2ボタンで選択し、決定ボタンを押します。
風向･ルーバー･換気設定 - - - - - - - - - → 設定できません
ハイパワー運転 - - - - - - - - - → 設定できません
タイマー設定
オン/オフタイマー - - - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください
消忘れ防止タイマー - - - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください
週間スケジュール設定 - - - - - - - - - → 12ページ参照
室外サイレントモード設定 - - - - - - - - - → 設定できません
制限設定
設定温度範囲制限 - - - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください
操作ロック - - - - - - - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください
省エネ設定
設定温度自動復帰 - - - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください
省エネ運転スケジュール - - - → 設定できません
自動清掃設定 - - - - - - - - - → 設定できません
フィルター情報 - - - - - - - - - → 14ページ参照
異常情報 - - - - - - - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください
メンテナンス - - - - - - - - - → 設定できません
初期設定
主従設定 - - - - - - - - - - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
リモコン名称設定 - - - - - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
時刻設定 - - - - - - - - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください
メイン画面表示設定 - - - - → 設定できません
コントラスト調整 - - - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください
リモコン表示設定 - - - - - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
自動モード設定 - - - - - - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
管理者用パスワード登録 - - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
サービス - - - - - - - - - → サービスマン用です
試運転 - - - - - - - - - - → 外気処理ユニットの据付工事説明書を参照ください
サービス情報登録 - - - - - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
ロスナイ設定 - - - - - - - → 設定できません
点検 - - - - - - - - - - - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
自己診断 - - - - - - - - - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
サービス用パスワード登録 - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
機能選択 - - - - - - - - - → 外気処理ユニットの据付工事説明書を参照ください
リモコン診断 - - - - - - - → リモコンの据付工事説明書（設定編）を参照ください
リモコン設定初期化 - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください
Q&A - - - - - - - - - → リモコンの取扱説明書を参照ください

使いかた　つづき

操作手順



運転画面1



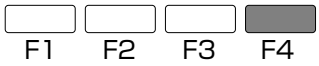
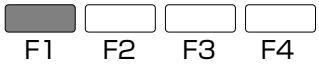
運転画面2

〈最初の運転〉

運転開始の前に‥‥電源が入っているか確認する
停電や電気工事または外気温度が10℃以下で24時間以上電源を切って放置した場合は電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。
すぐに運転を開始すると室外機の圧縮機故障の原因となります。

〈通常の運転〉

操作項目	操作部	手　順
①運転開始	運転ランプ 運転 停止	運転/停止 ボタンを押す。 運転ランプ（緑）が点灯
②加湿モードの変更	運転画面1 F1 F2 F3 F4	F1 ボタンを押すごとに 「自動」→「運転」→「停止」の順に変わります。 自動 ⇔ 状況に合わせて表示が変わる / 運転 / 停止 ■本アイコンは加湿器運転が有効時に表示されます。
③風量切換	運転画面1 F1 F2 F3 F4	F2 ボタンを押すごとに 「微弱」→「弱」→「強」の順に変わります。 微弱 / 弱 / 強 ■「微弱」風量にした場合、暖房モード、冷房モードでもサーモOFFになります。（温調運転しません）
④換気モード切換	運転画面1 F1 F2 F3 F4	F3 ボタンを押すごとに 「熱交換換気」固定→「普通換気」固定→「自動換気切換」の順に変わります。 「熱交換換気」固定 / 「普通換気」固定 / 自動換気切換 ⇔ 状況に合わせて表示が変わる ■ナイトパージ運転中は「普通換気」固定になります。

操作項目	操作部	手　順
⑤運転画面の変更	運転画面1・運転画面2  	F4 ボタンを押す。 「運転画面1」→「運転画面2」の順に変わります。
⑥運転モード	運転画面2  	F1 ボタンを押すごとに 「冷房（または除湿）」→「送風」→「自動」→「暖房（または加湿）」の順に変わります。 ■室外ユニットの機種により自動、暖房（または加湿）がない場合があります。 ■除加湿優先制御の場合「暖房」を「加湿」、「冷房」を「除湿」と表示します。
⑦温度設定	運転画面2 	設定温度はF2ボタンを押すごとに1℃ずつ下がり、F3ボタンを押すごとに1℃ずつ上がります。 ■除加湿優先制御の場合、温度設定は表示しません。 ■設定できる温度 冷房運転：19～30℃ 暖房運転：17～28℃ 自動運転：19～28℃ 送風運転：設定できません
⑧運転停止	 	運転/停止 ボタンを押す。 運転ランプが消灯

※24時間換気設定を有効に設定されている場合、運転中に運転/停止ボタンを押すと運転画面に24時間換気運転中アイコン および「24h換気中」が表示され、微弱風量運転に切り換わります。停止させるには運転/停止ボタンを5秒間長押しします。

※ナイトパージ運転中に停止させる場合は運転/停止ボタンを押して一旦運転操作した後、2分以上経過後に再度運転/停止ボタンを押してください。

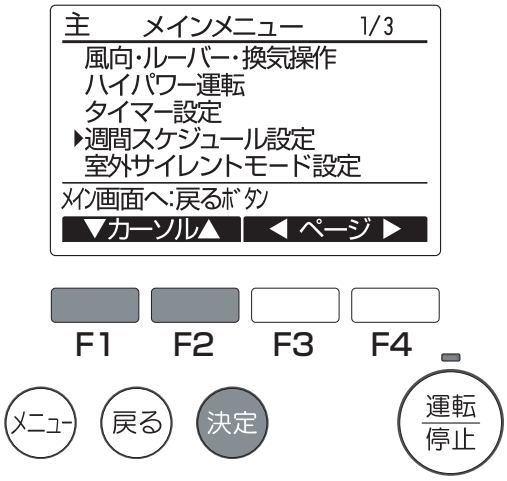
※運転停止操作のため運転/停止ボタンを押したとき、保護運転アイコン が表示される場合があります。アイコン表示中は機器保護のために送風機が継続運転します。保護運転終了後、アイコン表示が消えます。

使いかた　つづき

週間スケジュール設定

操作方法

1



メインメニュー画面で「週間スケジュール設定」を選択し、決定ボタンを押します。

以下の場合、週間スケジュール運転は実行されません。
オン/オフタイマー有効中／週間スケジュール無効中／異常中／点検中（サービスメニュー内）／試運転中／リモコン診断中／時刻未設定／機能選択中／集中管理中（禁止中の項目［運転/停止］に該当する設定内容は実行されません）

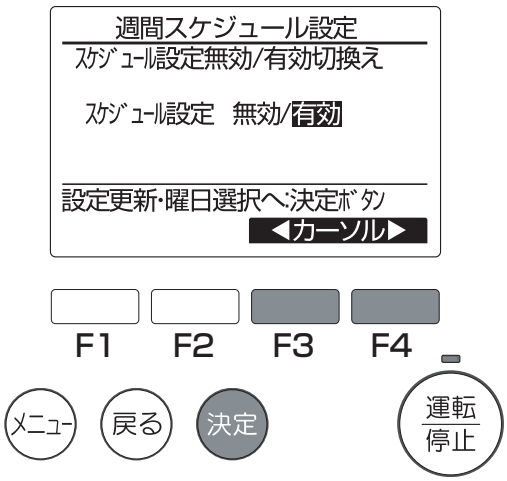
2

現在の設定状況が表示されます。

F1 F2 ボタンで月～日曜日までの設定内容が確認できます。
F4 ボタンでパターン5～8を表示します。

設定画面へ進むには決定ボタンを押します。

3



スケジュール設定無効/有効切換え画面が表示されます。

スケジュールを有効にする場合は、F3 F4 ボタンで「有効」を選択し、決定ボタンを押します。

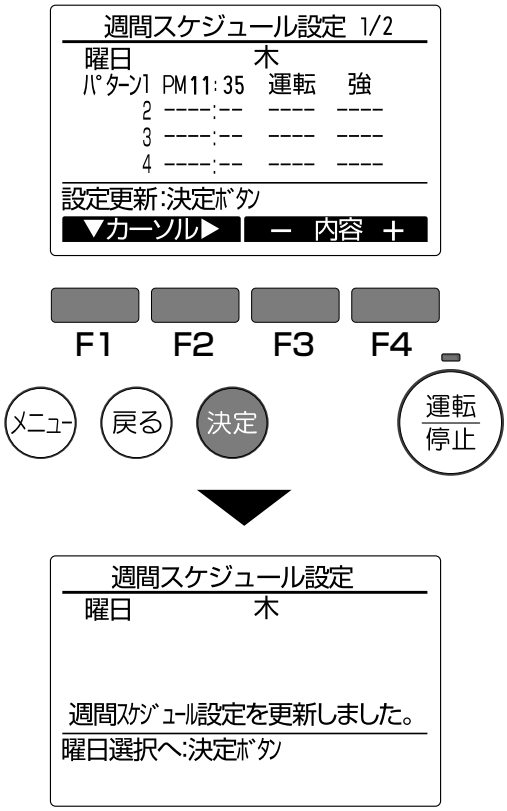
4

週間スケジュール設定画面が表示されます。
現在の設定状況が表示されます。
1日8パターンまで設定できます。

パターン設定を行う場合は、F1 F2ボタンで曜日を選択し、F3ボタンを押して設定する曜日を確定します。
（曜日は複数選択できます）

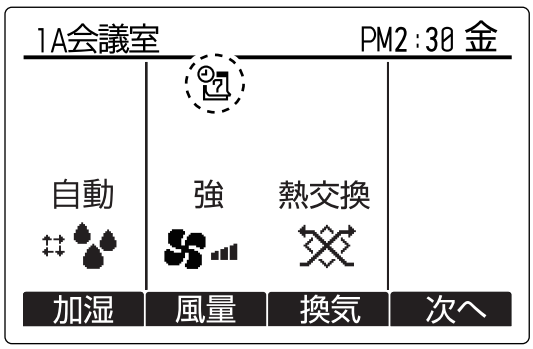
ご希望の曜日を選択した後、決定ボタンを押します。

5



パターン設定画面が表示されます。
F1ボタンでパターンを選択します。
F2ボタンで「時刻」「運転/停止」「風量」を選択します。
F3 F4ボタンでご希望の設定に切り換えます。
■時刻　5分単位で設定
※ボタンを押し続けると連続で数字が変わります
■運転/停止　「運転」「停止」「----」（変更しない）
■24時間換気設定を有効にしている場合
運転中に週間スケジュール設定で停止した場合、24時間換気運転になります。
■風量：「強」「弱」「微弱」「----」（変更しない）
ご希望の設定に切り換えた後、決定ボタンを押します。
設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
■設定更新・曜日選択画面に戻る・・・決定ボタン
■メインメニュー画面へ戻る・・・メニューボタン
■前の画面に戻る・・・戻るボタン



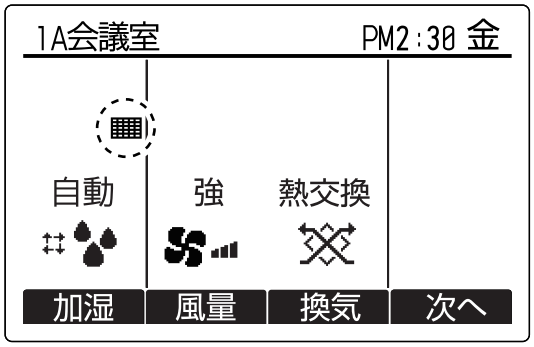
当日実行する週間スケジュール設定があるとき、運転画面1に「 」が表示されます。

オン/オフタイマー有効中は表示されません。

■リモコンが2台ある場合、「主」設定されたリモコンのみアイコンが表示されます。

使いかた　つづき

フィルター情報・清掃サイン解除



エアフィルター、ロスナイエレメント、加湿エレメントのうち、いずれかがお手入れ時期になると、運転画面1に「 ▦ 」が表示されます。

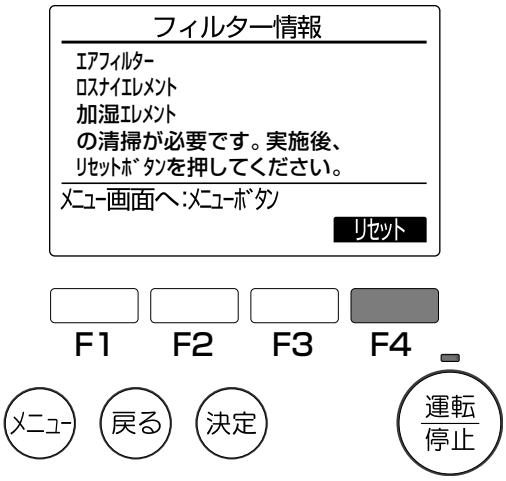
各部位のメンテナンスを行ってください。

操作方法

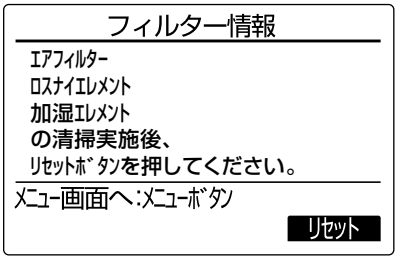
1

メインメニュー画面で「フィルター情報」を選択し、決定ボタンを押します。

2

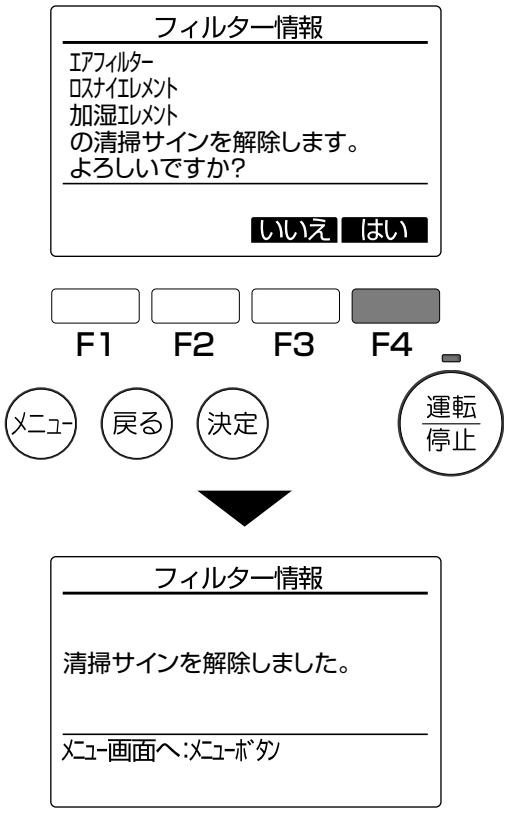


エアフィルター、ロスナイエレメント、加湿エレメントのうち、お手入れ時期になった部位が表示されます。
フィルター情報をリセットする場合はF4ボタンを押します。



■全ての部位がお手入れ時期に達していない場合は、左のような画面が表示されます。この状態でもリセット可能です。

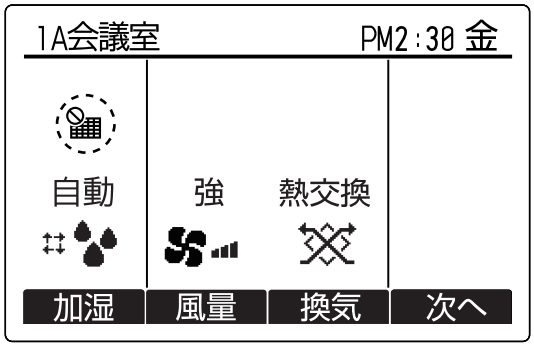
3



F4ボタンで「はい」を選択します。

設定確定画面が表示されます。

画面移動方法
■メインメニュー画面へ戻る･･･メニューボタン
■前の画面に戻る･･･戻るボタン



メイン画面に「 」が表示されるときは、集中管理中のため清掃サインを解除することはできません。

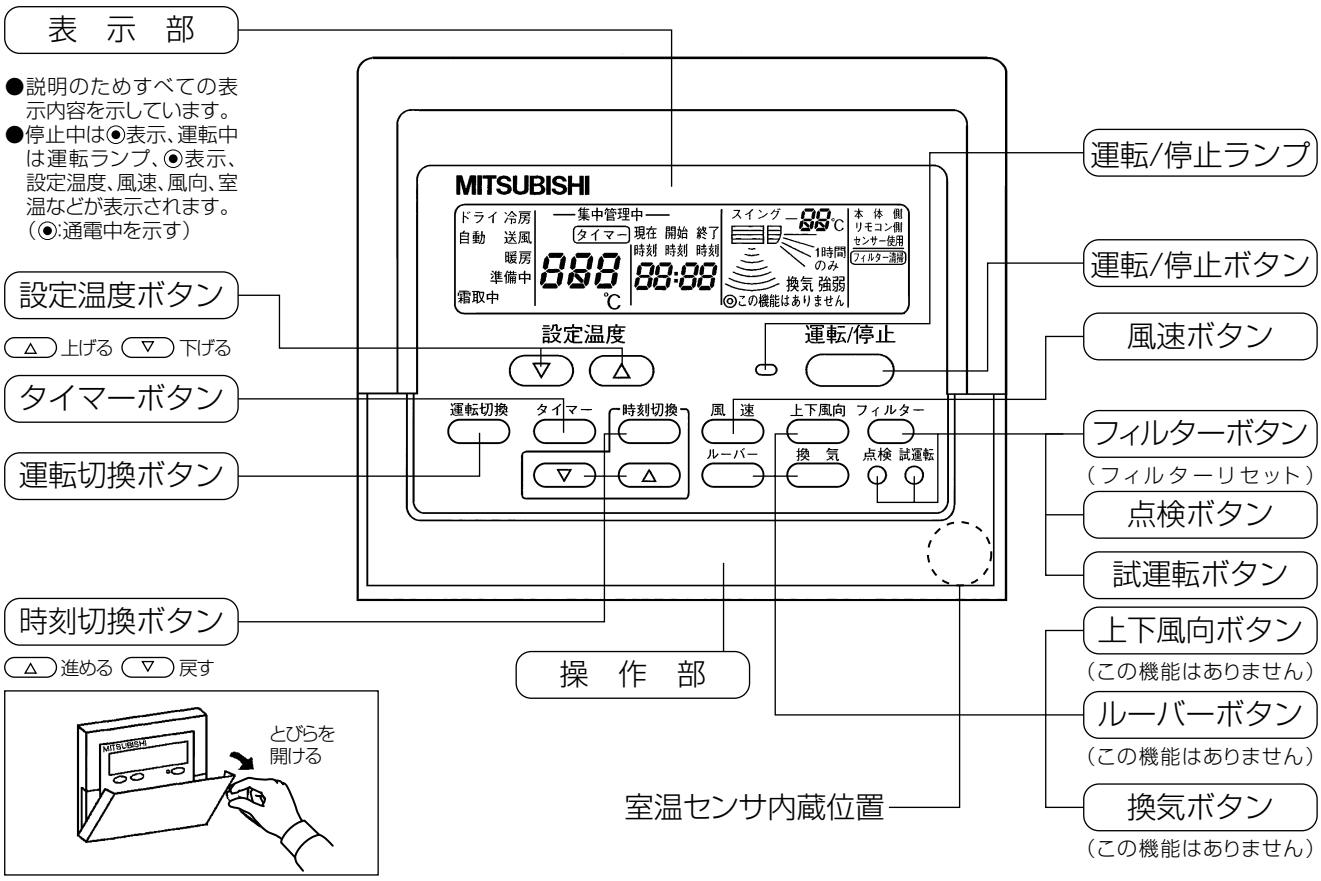
2台以上の外気処理ユニットが接続されている場合、各部位によって清掃時期が異なる場合があります。

「 」表示は、代表機種（親機）の清掃時期になると表示されます。また、清掃サインの解除を行うと全てのユニットの積算時間がリセットされます。

「 」表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安に表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

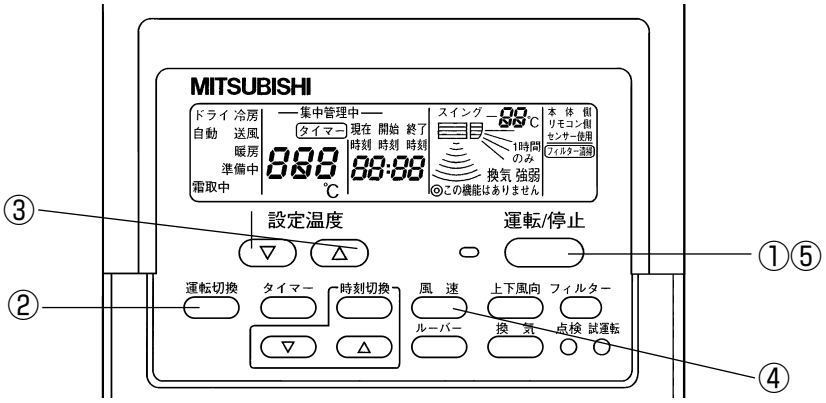
使いかた　つづき

MEリモコン（PAR-F28ME）使用の場合



※MEリモコン使用時は24時間換気、ナイトパージ運転が行えません。
※MEリモコンからは加湿モード、換気モードの操作は行えません。

操作手順



リモコン機能設定は、MEリモコンの取扱説明書をご覧ください。

〈最初の運転〉

運転開始の前に‥‥電源が入っているか確認する
停電や電気工事または外気温度が10℃以下で24時間以上電源を切って放置した場合は電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。

〈通常の運転〉

操作項目	操作部	手順
①運転開始	運転/停止	**運転／停止ボタンを押す（運転/停止ランプと表示が点灯）**
②運転モードの設定	運転切換	**運転切換ボタンを押す** ●1回押すごとに設定が切り換わります。 冷房 → 送風 → 自動※ → 暖房※ ※ 室外ユニットの機種により、自動･暖房機能がない場合があります。
③設定温度の変更 （外気温度制御時のみ）	設定温度 ▽ △	**■設定温度を下げたいとき…（▽）設定温度ボタンを押す** **■設定温度を上げたいとき…（△）設定温度ボタンを押す** ●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。 ●設定できる温度は次の通りです。 冷房運転 19～30℃ / 暖房運転 17～28℃ / 自動運転 19～28℃ / 送風運転 設定できません ※工場出荷時（除加湿優先制御）では設定温度の表示は切り換わりますが、実際の制御温度は変わりません。
④風速切換	風 速	**風速ボタンを押す** ●1回押すごとに以下のように設定が切り換わります。 風速：2段階 → (弱) → (強) **お知らせ** ●製品の保護運転時などは、液晶表示と製品の風速が異なる場合があります。
⑤運転停止	運転/停止	**運転／停止ボタンを押す**（運転/停止ランプ消灯、通電表示のみ） ※運転停止後5分以上待ってから電源を切る。

お手入れ

外気処理ユニットの機能低下を防ぐため、エアフィルター・ロスナイエレメントに付着したごみ・ほこりを定期的に清掃をしてください。
製品内にもごみ・ほこりがたまっている場合は、製品内も清掃してください。
また、霧や高湿度な外気を吸い込むことにより、製品内部に水が付着していることがありますが、異常ではありませんのでウエス等で拭きとってください。

目安　**エアフィルター……1年に１回以上**
（または、MAスマートリモコン（PAR-32MA）、MEリモコン（PAR-F28ME）でフィルター清掃表示がされたとき）

ロスナイエレメント……2年に１回以上
（または、MAスマートリモコン（PAR-32MA）でフィルター清掃表示がされたとき。できるだけ、1年に1回以上行ってください）
（汚れの程度に応じて清掃回数は増やしてください）
（雨水等の浸入によりロスナイエレメントが縮むことがあります。縮みによりすき間が発生している場合は、ロスナイエレメントの交換をお願いいたします）

加湿エレメント……1年に１回以上行ってください
（または、MAスマートリモコン（PAR-32MA）でフィルター清掃表示がされたとき）

⚠警告

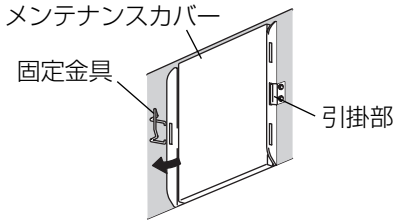
- お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切る
  （通電状態では感電やけがをすることがあります）

⚠注意

- お手入れの際は手袋を着用する
  （着用しないとけがの原因になります）
- お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
  （落下によりけがをすることがあります）

各部品のはずしかた

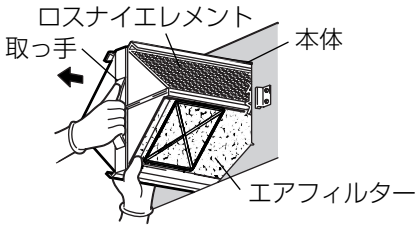
1



メンテナンスカバーをはずす

点検口から天井裏に入り、固定金具をはずしてメンテナンスカバーを開いて引掛部から取りはずす。

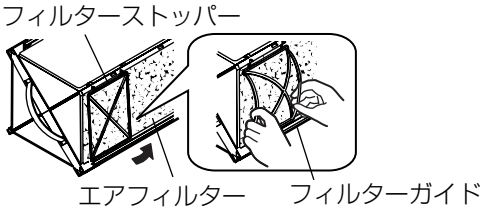
2



ロスナイエレメントを引き出す

取っ手を持ち、フィルターが付いたままロスナイエレメントを本体から引き出す。

3



エアフィルターをはずす

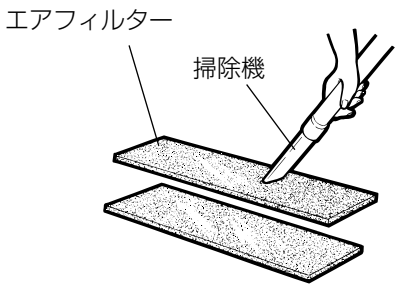
フィルターストッパー８個（ロスナイエレメント１個につき４個）をフィルターガイドからはずし、エアフィルターをはずす。

お願い

- フィルターストッパーは、左図のように少ししならせるとフィルターガイドからはずれます。
  フィルターストッパーが破損しないように取りはずしてください。

各部品の清掃のしかた

1



エアフィルターの清掃

掃除機でほこりを吸い取る。
汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

お願い

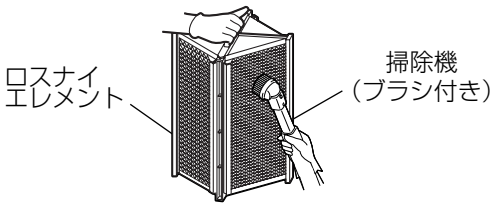
- 熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。
- 直接火にあてて乾かすことはしないでください。

メ モ

- 交換用のエアフィルターがシステム部材として用意されていますので古くなったエアフィルターは交換してください。

2

水洗い禁止



ロスナイエレメントの清掃

掃除機でロスナイエレメントの表面のごみ・ほこりを吸い取る。

- 掃除機のノズルは、ブラシ付のものを使用し、ブラシを軽く当てて清掃する。

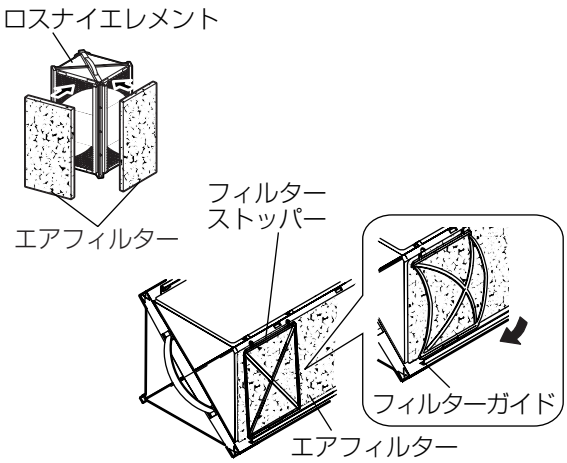
お願い

- 掃除機のかたいノズルを当てないでください。（ロスナイエレメントの表面が傷付きます）
- ロスナイエレメントは、絶対に水洗いしないでください。

お手入れ　つづき

お手入れ後の組立てと確認 ……取りはずしと逆の順序で取付ける。

1



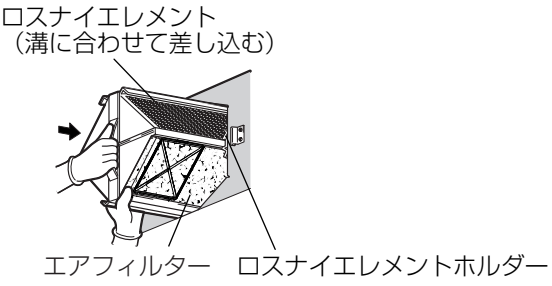
エアフィルターの取付け

エアフィルターをロスナイエレメントのフィルターガイドに合わせて取付け、フィルターストッパーで固定します。

お願い

- エアフィルターを取付けるときロスナイエレメントの表面を傷つけないようにしてください。
- エアフィルターは、フィルターストッパーで確実に固定してください。
- フィルターストッパーは、左図のように少ししならせてフィルターガイドに引掛け固定してください。
- エアフィルターを入れ忘れないようにしてください。ロスナイエレメントにごみが詰まり、風量低下の原因になります。

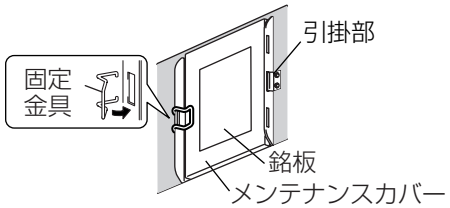
2



ロスナイエレメントの取付け

ロスナイエレメントのコーナー部（4 か所）をロスナイエレメントホルダーに確実に差し込み、本体内に納める。

3



メンテナンスカバーの取付け

引掛部にメンテナンスカバーの穴を引掛け、固定金具をかけて固定する。（銘板が読める方向に取付ける）

MEリモコン使用の場合は、フィルターリセットボタンを2回続けて押してリセットします。
MAスマートリモコン使用の場合は、フィルター情報画面で清掃サインを解除してください。

お願い

衛生的な空調を行うために、運転停止時に加湿エレメントが湿った状態で長時間放置されることは望ましくありません。以下の運転を実施し、加湿エレメントをよく乾燥させてください。

- 加湿シーズン終了後や加湿シーズン中においても長期間（2～3週間以上）加湿機能を運転しない場合は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、排水弁を用いて製品本体内の水抜きを実施した上で、加湿「切」、「ロスナイ換気」、「強」ノッチ運転で累計24時間以上送風機を運転し、加湿エレメントの乾燥運転を行ってください。
  - ・乾燥運転を行わないと残留水が腐敗し異臭が発生する場合があります。
  - ・給水バルブまたはサービス弁を閉止しないと、凍結・ウォーターハンマー等の影響により電磁弁・ストレーナが破損し水漏れの原因となります。
- 異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要になります。
- 製品を運転しない場合には、凍結防止のため水抜きの実施またはヒーターの電源を入れる等の処置をしてください。（製品外部の排水弁を用いて、製品内の水抜きを実施してください）
- 加湿シーズン中（夜間）に、室内の他のマルチエアコンを全て停止し、外気処理ユニットのみ運転する場合は、加湿をOFFして運転するようにしてください。室温が下がり、加湿により結露が発生するおそれがあります。
  加湿OFFのために以下のようにしてください。
  マルチエアコン連動の場合：自動的に送風運転となります。
  MEリモコン使用時：送風運転に切換
  MAスマートリモコン使用時：送風運転に切換または加湿モード「停止」
- 加湿シーズン中に連続運転する場合は、加湿エレメント寿命改善のため、1日30分間は加湿運転を停止してください。

保守点検［工事店様用］

長い間ご使用いただくため、1年に1回を目安に下記の点検を工事店にご依頼ください。

■保守点検の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る。

■加湿部の清掃時は、洗浄剤などを使用しないでください。

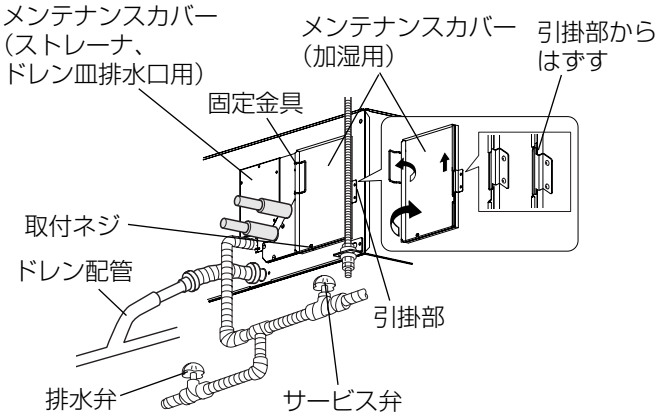
点検部品	保守点検内容		保守を怠った場合
	点検項目	処置方法	
ストレーナ	ごみによる目づまりの点検	目づまりが生じている場合は洗浄	加湿不能
	Oリング亀裂の点検	亀裂が生じている場合は交換　※注1	水漏れ
加湿エレメント	加湿エレメント表面からの漏水点検	加湿エレメント表面から水が吹き出す場合は交換　※注2	水漏れ
	加湿エレメント表面のごみ・ほこり点検	ほこりで風路がふさがれている場合は掃除機にて傷つけないよう清掃、または23ページを参照し水洗いをする	風量低下 加湿能力低下
ドレン皿	ドレン皿表面のごみ・ほこり点検	付着している場合はふき掃除を行う	風量低下、ごみ・ほこりの異物室内落下

※注1……交換用Oリング：市販品　P22A、P20
※注2……結露等により少量の水が出る場合がありますが異常ではありません。

ドレン皿・加湿エレメントの清掃時の注意事項

- ●シンナー・ベンジンなどの溶剤や、酸性またはアルカリ性の洗剤、ナイロンたわしなどは使用しないでください。（プラスチックを劣化させます）
- ●切削油などの油が付着した場合には多量の水で洗い流してください。ドレン皿の汚れがひどい場合には中性洗剤を使用し、その後十分に洗剤分を洗い流してください。（プラスチックを劣化させます）

清掃前の準備



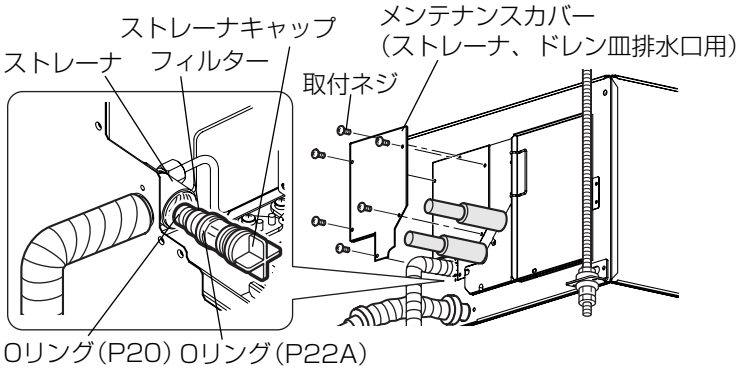
1.サービス弁を閉じる。
（残留水の飛散防止のため）

2.水漏れ対策をする。
●加湿エレメント内の水がこぼれます。天井裏にビニールシートを敷くなど水漏れ対策をしてください。

3.配管内の残留水を抜く。
●バケツ等で受けながら排水弁を開く。

4.メンテナンスカバー（加湿用）を取りはずす。
●取付ネジ1か所をはずし、固定金具をはずしてメンテナンスカバーを持ちながら斜めに開き、上側にスライドさせ引掛部からはずして取りはずします。
※はずしたネジをなくさないように保管をお願いします。

ストレーナ（フィルター）の清掃のしかた



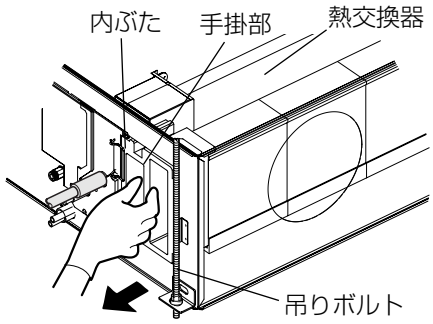
1.メンテナンスカバー（ストレーナ、ドレン皿排水口用）を取りはずす（ネジ6本）
2.ストレーナキャップを反時計回りに回してはずす。
3.フィルターに付着した汚れを水で洗い落とす。
4.ストレーナキャップを取付ける。
5.取りはずしと逆の順序で取付ける。

保守点検　つづき

加湿エレメントのはずしかた

左側は熱交換器、右側は吊りボルトがあります。両方にあたらないように出し入れしてください。

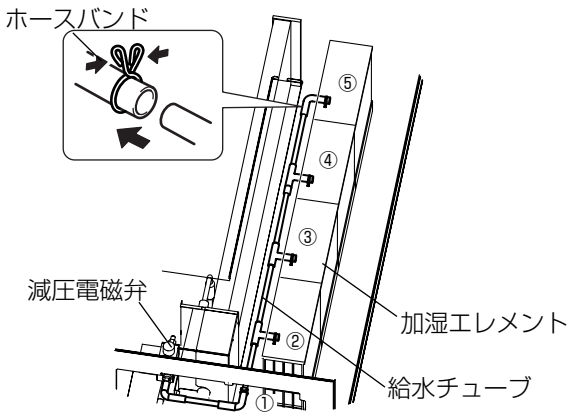
1



左図のように内ぶたを取りはずす

手掛部を持ち、まっすぐ手前に引き出す。

2



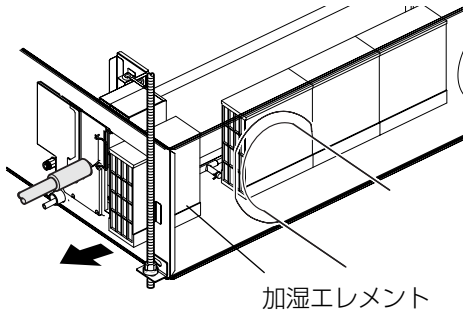
加湿エレメントから給水チューブをはずす

①部分のホースバンドをつまんで給水チューブをはずす。下記の「3 加湿エレメントを取り出す」の手順で手前の加湿エレメントを取り出しながら奥の給水チューブをはずす。

お願い

- ●給水チューブをはずすときは、ホースバンドをつまんでずらした後、チューブをはずしてください。
- ●減圧電磁弁から給水チューブを取りはずさないでください。
- ●給水チューブをはずすときは、本体内部のドレン皿に水が落ちるようにしてください。

3



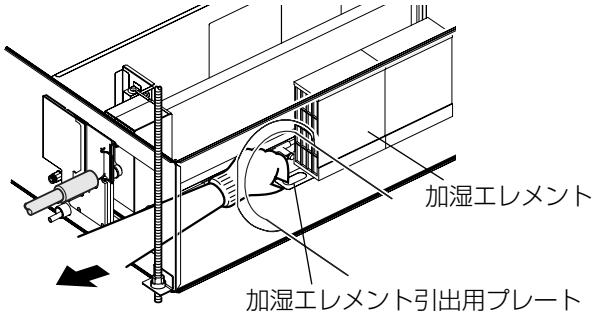
加湿エレメントを取り出す

1.加湿エレメントを手前に引き出す。

2.上記②～⑤部分のホースバンドをつまんで給水チューブをはずす。

形　名	個数
LGH-50タイプ	2
LGH-80タイプ	3
LGH-100タイプ	4

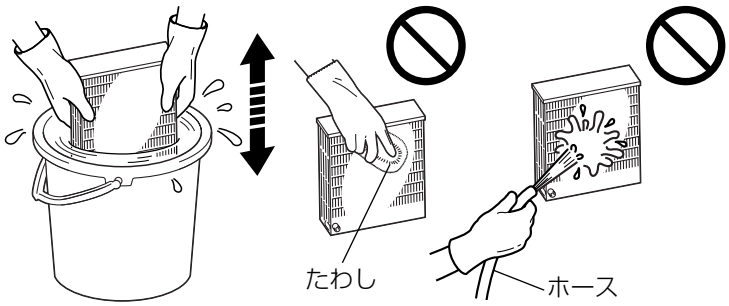
3.3番目以降の加湿エレメントは加湿エレメント引出用プレートを手前に引き、手が届く位置まで出してから取り出す。(LGH-80タイプ・100タイプ)



お願い

- ●加湿エレメント引出用プレートは製品の外に出さないでください。
- ●加湿エレメントと一緒に給水チューブも引き出してください。(加湿エレメント内部に残っている水をドレン皿に出してください)
- ●給水チューブは、折り曲げ・引っ張りなどしないでください。

加湿エレメントの水洗いのしかた

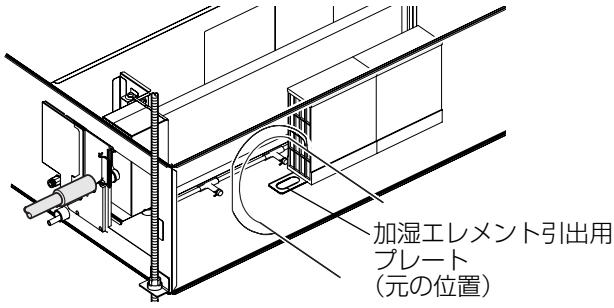


バケツなどに水を入れ加湿エレメントを4～5回揺らすように上下させて、ごみ・ほこりを洗い流す。

お願い

- ●たわしでこすることはしないでください。
- ●直接ホースで水をかけないでください。（加湿エレメントが破損し、水漏れの原因となります）
- ●40℃以上の湯や洗剤は使用しないでください。

加湿エレメントの取付けかた



取りはずしと逆の順序で取付ける。

- ●LGH-80タイプ・100タイプの場合は、加湿エレメント引出用プレートは元の位置に戻してから加湿エレメントを挿入する。手前にあった加湿エレメントを奥側にして、ローテーション設置を行ってください。
- ●給水チューブは確実に接続し、水漏れがないことを確認する。
- ●固定金具でメンテナンスカバー（加湿用）を固定し、ネジを締めてメンテナンスカバーが開かないことを確認する。

※ネジを締め付けないとメンテカバーが開き水漏れの原因となりますので必ずネジ止めを実施してください。

点検後の確認

1.サービス弁を必要に応じて開ける。

- ●夏期は加湿を必要としない場合が多いため、サービス弁を閉じておくことをおすすめします。

2.冬期（加湿時期）に、凍結のおそれのある地域では必ず凍結防止用ヒーターの電源が入っているか確認する。

3.試運転を行い、水漏れがないことを確認する。

「故障かな？」と思ったら

次のような現象が生じた場合は下表を参照してお客さま自身で処置をしてください。

現　象	原　　因	処　　置
換気しない	●マルチエアコンが運転していない。	●マルチエアコンを運転し、外気処理ユニットの運転を確認する。
	●元電源が入っていない。	●元電源を入れる。
	●エアフィルター・ロスナイエレメントが目づまりしている。	●「お手入れ」に従って清掃する。
停止しない	●マルチエアコンが運転している。 ●外気処理ユニットが単独で運転している。	●マルチエアコンの運転を停止する。 ●機器を保護するための運転を行っている場合は、P8の⑱表示が出ていますので確認してください。
加湿しない	●マルチエアコンが暖房モードになっていない。 ●給水されていない。 ●MAスマートリモコン（PAR-32MA）で加湿モードが「停止」になっている。 ●風量が「微弱」になっている。	●暖房モードにする。 ●サービス弁または元栓を開く。 ●加湿モードを「運転」または「自動」にする。 ●風量を「微弱」以外にする。
よく冷えない よく暖まらない	●設定温度が低い。 ●設定温度が高い。 ●フィルターが汚れ、目詰まりしている。 ●室外ユニット周囲空間がふさがれている。	●設定温度を調節してください。 ●フィルターの清掃をしてください。 ●室外ユニットの吹出口、吸込口付近の空間を広く開けてください。
リモコンの運転表示が点灯しない	●電源開閉器が切れている。	●電源開閉器を入れてください。 ●MEリモコンの場合、表示部に“⦿”が表示されることを確認してください。
運転ボタンを押したのに運転しない 点灯したリモコンの運転表示が消える	●外気処理ユニットの電源開閉器が切れている。	●電源開閉器を入れてください。
リモコンのタイマー運転セットができない	●MEリモコン（PAR-F28ME）では、タイマー運転はできません。 ●MAスマートリモコン（PAR-32MA）のタイマー設定が無効となっている。	●タイマー設定を有効にしてください。 ●MAスマートリモコン（PAR-32MA）ではタイマー設定が有効なときはリモコンにP8の⑭または⑮表示が出ていますので確認してください。

上記の処置をしても改善されない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
また、リモコンに“ 点検 ”または何らかの点検コード表示（4桁）が表われたときはその内容を、お買上げの販売店にご相談ください。

次の場合は異常ではありません。

音がする	●運転中や停止時に「シュル、シュル」などと音がすることがあります。これは本体内部の冷媒が流れる音です。 ●冷暖房運転の開始後と停止したのちに「ピシッ」と音がすることがあります。温度変化で金属部分が膨張・収縮しておこる音です。
暖房運転時に冷たい風が出る	●外気処理ユニットからの吹き出し空気は一度マルチエアコンへ入れて室内へ吹き出すことを推奨していますが、マルチエアコンシステムによっては直接室内へ吹き出すことがあります。この吹き出し方法においては次に示すようなとき暖房運転中に冷風が吹き出します。吹き出し方向を変えるなどしてご使用ください。 ・運転開始時 ・運転を停止して再度すぐに（3分以内）運転したとき ・室外ユニット除霜運転時 ●室内湿度スイッチ（ヒューミディスタット等）が接続されていませんか？ 室内湿度が高いと、自動的に加熱加湿運転を停止します。 ●加湿運転を停止していませんか？ 加湿停止中は室温上昇を防ぐために加熱運転を停止します。
送風運転時（24時間換気、ナイトパージ運転時を含む）に暖かい風が出る	●他のマルチエアコンや外気処理ユニットが暖房運転していると、本体内部の冷媒がわずかに流れ、温風が吹き出すことがあります。
水が出る	●外気処理ユニットの停止時にドレン排出口より水が出ます。 これは異臭（水の腐敗）防止のため加湿エレメント内の水が排出され、排水電磁弁を通って出てきた水です。 ●加湿エレメントの寿命向上のため、4時間連続して加湿運転を行った後、30分間加湿器を停止し、加湿エレメント内の水を強制排水させます。
暖房運転時にすぐに風が出ない	●十分に暖かな風をお届けするため準備中です。 リモコンに“暖房準備中”が表示されます。そのままお待ちください。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる	●外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したが動かない	●約3分間お待ちください。外気処理ユニットを保護するために停止しています。
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る	●初期設定（約3分）を行っているためです。そのままお待ちください。 停電からの復帰時や、室外ユニットまたは外気処理ユニットの電源を入/切した場合などに表示します。
運転/停止ボタンを押さないのに動きだした	●オンタイマー運転をしていませんか？ 運転/停止、消忘れ防止ボタンを押して停止してください。 ●遠方コントロールが接続されていませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ●「 」アイコンまたは“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 運転を指示したところへ連絡・確認してください。 ●停電自動復帰を設定していませんか？ 運転/停止ボタンを押して停止してください。 ●低外気温になると加湿用の水が凍結するのを防止するために運転します。 ●加湿運転停止後、64時間運転されなかった場合、10時間自動送風運転し、加湿エレメントを乾燥させます。
運転/停止ボタンを押さないのに停止した（運転しない）	●オフタイマー、消忘れ防止運転をしていませんか？ 運転/停止ボタンを押して運転を再開してください。 ●遠方コントロールが接続されていませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ●「 」アイコンまたは“集中管理中”の表示が点灯していませんか？ 停止を指示したところへ連絡・確認してください。 ●外気が低温または高湿時は一時的に運転を停止します。 ●遅延設定されている場合は30分後に運転します。

アフターサービス

アフターサービスはお買上げの販売店かお近くの「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」（別紙）にご相談ください。
別紙チラシが不明な方は下記窓口へお問い合わせください。
■ご相談窓口
平日　9：00～19：00
土・日・祝　9：00～17：00
三菱電機冷熱相談センター　電話0037-80-2224（無料）
※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

異音がする、風が出ないなど異常があれば必ず電源を切って、お買上げの販売店へご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの外気処理ユニットの補修用性能部品を製造打切り後9年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

加湿エレメントの交換の目安について

水道水内の不純物や混入物質が加湿エレメント内に堆積するため、加湿能力は徐々に低下します。

- ●使用過程において加湿量が少なくなった場合は、加湿エレメントの交換をしてください。（お客さまご負担）
- ●交換の目安は約5年（硬度25の水を使用した場合の当社試験の場合）です。
  （運転時間：10時間/日×20日/月×5か月/年＝1000時間/年　で5000時間を想定）
  ただし不純物の堆積具合は、水質（硬度、不純物の種類と量、PH、温度他）や使用条件などにより大きく左右されます。

	硬度25	硬度50	硬度100
交換の目安	5年	3年	2年

湿度センサの交換の目安について

- ●本製品には、湿度センサの劣化判定機能が備わっています。センサが劣化したと判定した場合は、給気送風機を間欠運転します。間欠運転時に劣化異常ではないと再判定した場合は通常運転に復帰します。
- ●10年以降にセンサ劣化を判定した場合、給気送風機は停止し、通常運転には復帰しませんので、湿度センサの交換をしてください。（お客様ご負担）
- ●湿度センサの交換時期はご使用条件によって大きく異なりますが、交換の目安は以下の通りです。（保障期間ではありません）
  交換の目安は約5年（24時間/日×365日/年×5年＝43800時間を想定）

移設・工事・点検について

■移設について

①増改築･引越しのため外気処理ユニットを取りはずしたり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

この製品はフロン回収･破壊法･第一種特定製品です。

③フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

④この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

1）この製品は、地球温暖化防止のために、適正にフロン類を回収する必要があります。
2）本機には二酸化炭素8277kg～16.4tonに相当するフロン類が使用されています。
3）上記2）の数値は、本機が接続されている室外機や接続室内機台数、配管長等により異なります。
システム全体での数値は、室外機に表示されています。

この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。
外気処理ユニットの取りはずし時は、フロン類の回収が必要です。
表示されている数値は、システム全体の最大冷媒量（システムの容量により変化）を能力当りに換算した冷媒量を元に算出しています。

■設置場所について

①設置･移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

②次の場所への据付けは避けてください。

- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 炎の近くや溶接時のスパッターなど､火の粉が飛び散るところ
- 酢(酢酸)を多量に使用するところ
- 海浜地区等塩分の多いところ
- 温泉地などの硫化(イオウ系)ガスの発生するところ
- 酸性の溶液を頻繁に使用するところ
- 粉や蒸気が多量に発生するところ
- 油煙のたちこめるところ
- 湿気の多い場所
- 高周波を発生する機械のあるところ
- 特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

など､外気処理ユニットの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合外気処理ユニットの故障のもとになります｡詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください｡

③外気処理ユニットは必ず水平に据付けてください｡水たれなどの原因となります｡

④病院･通信事業所などに据付けされる場合は､ノイズ発生源を遮断して施工してください｡

■保守点検契約のおすすめ

●外気処理ユニットを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります｡ご使用状態によっては臭いが発生したり､ゴミ､ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります｡通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします｡

■電気工事について

①電気工事は､電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください｡

②電源は外気処理ユニット専用の回路を設けているか販売店にご確認ください｡他の電気製品と回路を共用しますと､ブレーカーやヒューズが切れることがあります｡

③万一の感電防止のため､アースを取付けてください｡詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください｡

④据付場所によっては､漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています｡ 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください｡

⑤ブレーカー･ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください｡

■騒音にもご配慮を

①据付けにあたっては､外気処理ユニットの質量に十分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください｡

②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください｡

③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと､性能低下や騒音増大のもとになりますので､吹出口付近には障害物を置かないでください｡

④外気処理ユニットをご使用中､異常音がする場合などは､お買い上げの販売店にご相談ください｡

仕　様

形　名	電源（V）	周波数（Hz）	消費電力（W）	定格風量（m^3/h）	外気負荷熱処理能力（kw）		加湿量（kg/h）	騒音（dB）		質量（kg）
					冷房能力	暖房能力		本体真下1.5m	本体吹出口	
LGH-50RDF$_6$	単相200V	50	300	500	6.30	6.18	2.7	35	41.5	70
		60	390	500				37	43.5	
LGH-80RDF$_6$-50		50	490	800	9.45	10.11	4.0	35	41	108
LGH-80RDF$_6$-60		60	635	800				36	43	
LGH-100RDF$_6$-50		50	620	1000	12.3	12.50	5.4	38	45	110
LGH-100RDF$_6$-60		60	830	1000				39	46	

※騒音値は無響室で測定した値です。
※本体吹出口騒音は斜め45°、1.5m前方の値となります。
※上記の値はロスナイ換気、強ノッチ時の場合を示します。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。